

# 萩 ネットワーク

山陰の古い城下町に住み、日々の暮らしを定点観測している写真家・下瀬信雄さん。精神も感性も脆かった少年時代、詩人と科学者に憧れたという。だが、この写真集「萩の日々」の繊細なモノクロームの世界に若き日の上質な美意識は確実に生きている・・・。

「無性に足を濡らしてみたいくなる修学旅行―菊ヶ浜―」  
 …萩には海がある。都会から来ると裸足で海に入りたがる。それだけ都会には海が失くなっている。思わず海に入ってしまうところがいい。(下瀬談)

第 36 号 2000 年 11 月

発行：萩ネットワーク協会

〒 758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458

萩市ホームページ <http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>

写真集「萩の日々」から  
 萩市の写真家 下瀬信雄さん



萩の 11 月・12 月のイベント・・・P 2  
 萩焼 400 年バリ展 [榎本徹さん]・・・P 3  
 品川弥二郎小伝 最終回 (北村知紀)・・・P 4～5  
 ズームアップ [大野綱之さん]・・・P 5  
 萩国際大学、マイキャンパス・・・P 6  
 幕末の大砲工場発見、萩しーまーと着工・・・P 7  
 同窓会だより、明治維新防長殉難者顕彰会・・・P 8  
 萩の唄ふるさと Song(2)、萩の足跡・・・P 9

## 目次

萩夏みかん農園開園、私のお店「長州」・・・P 10  
 拓殖大学寄贈、奇兵隊青年部、豪華客船「飛鳥」・・・P 11  
 夢追人 [小川成一さん]、写真集「萩の日々」・・・P 12  
 山口県史に抑留体験 [横田義男さん]・・・P 13  
 県立萩美術館・浦上記念館から・・・P 13  
 情報アラカルト・・・P 14～15  
 幕末・維新こぼれ話 中嶋治平(1) (樋口尚樹)・・・P 16  
 トピックス 萩にゴッホがやってくる・・・P 16



今年も秋の一大イベント「秋時代まつり」を11月12日(日)に開催します。

伝統の「萩・大名行列」をメインに、観光都市・萩の魅力をPRします。

■岩国藩鉄砲隊実演・萩民踊「男なら」披露(午前10時)

■岩国藩鉄砲隊パレード(午前11時)

■萩城下町

■岩国藩鉄砲隊実演(午前11時30分)

■萩時代パレード(午後1時)

御許町交差点〜市民体育館

参加団体 平安古町備組など15団体

■時代パレード演技披露(午後1時20分)

市民体育館

■吉田松陰生誕170年記念

田松陰とその門下生パネル展

○第1期

とき 11月9日(木)まで

ところ 青木周弼旧宅

○第2期

とき 11月11日(土)・12日(日)

ところ 市民体育館



昨年の秋時代パレード

問い合わせ 萩市観光課内秋時代まつり実行委員会事務局 (0838・25・3139)

## 文化財保護法50年・伝建制度25年記念事業

文化財保護法は、昭和25年に成立しました。また、昭和50年には、伝統的建造物群保存地区制度が加えられ、翌年には、堀内地区・平安古地区がこの制度による最初の選定を受けました。

とき 11月4日(土) 午後6時30分〜9時

ところ サンライフ萩

○記念式典(文化財功労者、伝建地区功労者、小中学生文化財絵画展優秀者の表彰)

○記念講演

講師 木原啓吉(千葉大学名誉教授・江戸川大学教授)

演題 「文化財保護から歴史的環境の保護へ その歴史的系譜と世界的動向について」

○シンポジウム

テーマ 「伝建地区とまちづくり」

パネリスト 木原啓吉、野村興兒(萩市長)、柳井治彦(堀内代表)、小茅 稔(浜崎代表)、崔美由紀(萩ケーブルネットワーク)

問い合わせ 萩市都市計画課 (0838・25・3131 内線405) へ

■小中学生文化財絵画・全国伝建地区パネル展示

とき 11月13日(月)まで

ところ 市役所ロビー

※4日はサンライフ萩に展示します。

問い合わせ 萩市教育委員会文化財保護課 (0838・25・3131 内線269) へ



堀内地区 (大野毛利家物見矢倉 ※戦後解体)



平安古地区 (伝建地区選定当時)

## 第1回 維新の里 萩城下町マラソン

全国から集まった選手たちに声援を!

いよいよ全国から出場者を募った「維新の里・萩城下町マラソン大会」が開催されます。温かい声援をお願いします。

とき 12月17日(日) 午前8時(受付開始)、午前9時(開会式) ところ 萩スタジアム(受付)

種目

◇ハーフマラソンの部(午前10時〜、21・0975km)

コース 萩ウェルネスパーク〜指月公園折り返し

※制限時間があります。

◇ファミリーの部(午前10時5分〜、2km)

コース 萩スタジアム周辺

◇10kmの部(午前10時10分〜)

コース 萩ウェルネスパーク〜中津江橋付近折り返し

◇2kmの部(午前10時20分〜)

コース 萩スタジアム周辺

◇5kmの部(午前10時20分〜)

コース 萩ウェルネスパーク〜金谷鉄橋付近折り返し

問い合わせ 萩市教育委員会体育課 (0838・25・5519)

# 萩焼 400年パリ展

## 評価、入場者とも好評 12月9日まで

フランスのパリ日本文化会館で海外初の総合的な萩焼の展覧会「萩焼400年パリ展」が10月17日開幕しました。

17日の開会当日は227人が入場、パリ日本文化会館によると、開会当日に入場者が200人を上回ったのは開館以来初めてという。24日までの7日間に1440人が入場しました。

16日夜の招待者対象の内覧会には、小倉和夫・駐仏日本大使や松浦晃一郎・ユネスコ本部事務局長のほかフランス政府関係者ら約500人が出席しました。

また、同日、報道向けの内覧会があり、現地のジャーナリストからは展示内容をはじめ展示構成、会場デザイン、照明効果など高い評価を受けました。



△会場内の萩市街のパネル  
▷会場で質問を受ける榎本さん(左)



茶陶と違う現代物の多様さと置物のインパクトの強さに驚いていた

### 監修者の榎本徹さん(県立山口美術館副館長)に聞く



#### パリの人たちの反応は？

基本的に見方がうまいし、2年前に同会場で開かれた「楽展」を見ているなど、日本文化に対して深く理解している。「萩焼を見るのは初めてですが」という言葉から質問を始める人が多かった。日本文化を理解しようという熱心さを感じた。またよく理解した人が来ている。

江戸時代の作品が、変化があった个性的で面白い、自由さを感じさせるという反応を多く聞いた。

多くの人が茶陶と違う現代物の多様さと、置物のインパクトの強さに驚いていた。バラエティがある、ダイナミックな動きがある、大きさに驚いたなど。

#### 印象に残ったことは？

この会場には、美術ギャラリーとホールがあって、ふだんホール

の照明をやっている人たちが展覧会の照明を担当していた。会場全体を暗くして作品の存在感を出し、作品の一点一点に照明を当てて、表情が出るようにしている。蛍光灯に赤いフィルターをかけ黄色がかかった赤味を出し、萩焼の温かさが浮かび上がるといふ風に照明に凝っている。

#### 今回の展示の狙いは？

萩焼400年の奥行きだけでなく、茶陶だけではない幅の広さ、バラエティの豊かな萩焼の全体的な拡がりを見てほしい。

#### 入場者数は？

パリ日本文化会館の今までの最高は「縄文展」で1万人以上でしたが、初日は50人前後だったという。今回は初日に200人位と出足がすごい。オランダから初日に来ていたが、EU諸国の中で人は自由に動くという現実に興味を持った。

#### 展示内容について？

時代順ではなく、セットで見てほしいものはセットにしている。茶碗・茶入・水指の三点セットで、伝統的な一番古いものと前衛的で造形的な一番新しいものとを対応させた。遊び、仕掛けを楽しんでほしい。作者が違うけど似ている置物とか展示の順番には凝ったつもりです。照明も含め日本ではできないぐらい面白い展示になっている。

### SHOW IN ウォーク

#### 第3ステージ(松陰の道・リレー講演会)

佐賀市での一坂太郎さん(東行記念館副館長)の講演から

松下村塾について(抜粋)

もっとすごいのは、松陰は偉ぶったことがなく、温厚であった。入門希望者に「私は学問をしているので、一緒に勉強していこう」と言った。同士になりましょうとのことを言ったらしい。

よそから見ると誰が先生かわからなかったらしい。メダカの学校であった。松陰は本当に尊敬されていた。松陰と塾生は年が9歳ぐらいいしか離れていない。お兄さんみたいなもの。しかし田舎の十代の少年達にとって密航に失敗した武勇伝や世界情報の話に影響を受けた。当時の親たちはあんまり塾に通わせたくなかったらしく、難民と呼び、差別した。門下生は逆に発奮していった。

授業は面白く、よく冗談も出ていたらしい。15、16の少年だった品川弥二郎が壁に塗ろうと泥をねっていた時、その泥が松陰の顔を直撃、品川はびっくりした。そこで松陰は「弥二郎よ、師の顔に泥を塗るものではない」とくだらない親父ギャグを言ったそうです。がちがちの先生ではなかったそうです。

# 情ある人 品川弥二郎小伝 最終回

たお 斃れた先輩思う毎に慚汗 背を潤す

前回にもそれらしいことを記したが、品川弥二郎は政治家としては失敗の方が多かった。後半生は本人にも不本意だったかもしれない。しかし、篤実な青年たちからは今の世の吉田松陰として、ひそかに欽慕されたという。品川はつねづね言っていたそうだ。今、この明治の御代があるのは、先輩諸子が家を忘れ身をなげうち、元を喪い血をそそいだ御陰ではないのか。「弥二の如きは昼夜これを思う毎に慚汗背を潤す。あに先輩に報ずる所のうして可ならんや」と。そして、師吉田松陰はじめ非命の志士たちを歴史に刻み顕彰することを己が任とした。

師に託された  
「幽室文稿」を出版する

品川が先輩諸子という時、その心中、師松陰の姿が圧倒的な比重を占めていたことは言うまでもない。明治という新時代が来て、なお彼の中で松陰は生き続けていた。

安政6年(1859)5月、死を覚悟して江戸へ送られる師松陰に秘匿を託された遺稿をまず世に出さねばならない。それは、師が自分の功罪のすべてはこの書中にあるとまで言いおいたものだ。そして、下獄した学者の書を門人が焼いた中国の話の聞いて涙し「思父(品川の諱)に付して密かに之れを蔵せしむ。思父は蓋し火かざらん」と信頼し預けていかれた。

松陰はこの文稿に跋文を付け、「其(自分の)功罪の如きは猛士(松陰)の骨の冷ゆるを待ちて、然る後断ずる者出でん」と書いた。勿論、これを読んだ上でのことである。

品川が、戊午・己未両文稿合わせて6巻を「幽室文稿」として出版したのは、師の刑死から22年たつ明治14年(1881)。序文に、師は獄中この文稿を懐からとり出し私の手をとって授けられ、私は泣いて受けた、と回顧している。思えば、当時弥二郎はまだ満15歳の少年だった。

京都に松陰遺言の尊攘堂をつくる

尊攘堂は、生前の松陰が国家有為の志士を集めて教育する場を京都につくりたいと念願したもの。松陰は最後までこれに執念をもやし、伝馬獄で死刑を覚悟すると、かねて相談していた入江杉蔵へ、「この上は是非僕が志

他の人はいざ知らず、彼には師の遺志をほっとけなかつた。明治20年(1887)、京都の元典薬頭の別荘だった所を買い求め、手を加えて尊攘堂とした。一室に尊攘堂に身を捧げた志士たちを祀り、彼らの遺墨遺品、関係史料を集めて展覧。毎年、日を定めて祭典も営んだ。

品川の尊攘堂は松陰が構想した学塾的なものではなかつたが、明治維新の途上で斃れた先輩諸子をなんとか追悼・顕彰したいという真心の所産といえた。独力で設立された尊攘堂は彼の死後、京都帝国大学へ寄贈・移管され、今は京大付属図書館の管理になっている。

皇后から品川通し

松陰老母へ贈り物

明治22年(1889)12月27日、御料局長の品川は皇后陛下に呼ばれ御前に出た。すると皇后から「松陰の老母へ些少の品なれども遣はし度く候間、弥二郎より然るべく取り計らいくれとのお言葉あり、お包み(白縮緬1疋)を載く。

品川は感激のあまり「かくまで大御心を掛けさせられ、松陰の母は申すまでもなく、松陰も地下にて感泣致し候はん」と言い、落涙して退いた。

その数か月前、皇后大夫の香川敬三に「松陰先師在世中の事色々申し上げた」のがお耳に入ったのだ。品川はすぐに萩の松陰実兄・杉民治へ手紙を書く。母の杉滝子はこの時83歳。

「先師の顔、やじが眼にちらつき、御前にて落涙に沈み、やつとそのお礼だけ申し上げたり。ご推察、ご推察。嗚呼！」

師匠おもしろい、皇室おもしろい弥二郎の感動の深さ、喜びの大きさが伝わってくるようだ。品川の生涯の中でも、この時ほど嬉しかったことはなかつたのではないだろうか。

品川の墓は、維新の夜明けを見ずに死んだ多くの仲間たちが眠る京都・霊山墓地にある



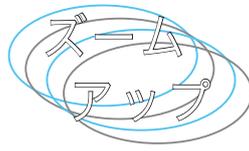
有情の少年で生涯貫く

明治33年(1900)2月26日、品川弥二郎は前年亡くなった夫人の後を追うように病死する。行年58歳。この時、品川家には「正二位勲一等子爵」に見合う葬儀を営むだけの金がなく、ある人が密かに援助したといわれる。

棺を蓋つて多くの人が言ったのは、品川がよく先師松陰の遺訓を守り、一学童弥二の心を失わず、国家社会へ尽くす志士の本領を保つたということだった。

身内の先輩政治家、山県有朋はこれを「時勢とともに変わることを毫も欲せず、どこまでも維新前の気象を失わざりき。大概の人は程度の相違はあれ軟化した品川は然らざりき。彼の長所短所俱にここにあり」と評した。よく品川を知る者の至言だろう。

東京朝日新聞は書いた。「正二位勲一等子爵の肩書がこの人の名前の上には何やら落ち着きかぬ。その事が明治の歴史に『やじ』が存在した意味である」(おわり)



▶品川が師松陰の遺志を  
ついで創建した尊攘堂。  
写真は彼の死後、京都大  
学構内に新築されたもの

「成就致し呉られ候事と頼母敷く存じ候」と  
遺言した。  
しかし、この手紙はなぜか入江に届かず、  
5年後に入江自身も禁門の変で戦死。維新後、  
偶然水戸で見つかり品川の手に入った。



53歳の品川弥二郎。後半生は持病の胃病との闘いでもあった(「品川弥二郎伝」より)

※萩市は2004年(平成16)に毛利氏の萩開府から400年を迎える。そこで来年から、波瀾と苦難にみちた歴史を「萩400年の物語」と題して長期連載します。

郷土史家 北村 知紀

広島テレビ放送株式会社 常務取締役

## 大野綱之氏(萩高9期卒)

今回は、少年時代からずっと憧れていた新聞記者として反骨精神をいかに発揮し、現在は広島テレビ放送株式会社の常務取締役として活躍中の大野綱之さんに、反骨精神の原点である長州男児の心意気について熱く語っていただきます。

### 長州男児の心意気

どうしても、新聞記者になりました。そしてなつた。その原点は古里にある。小、中、高と学校



新聞作りに携わつたが、新聞記者に最も要求される反骨精神は、この時、養われたと思うからだ。奈古中時代のことである。生徒数が一人減つたがために、三クラス編成が二クラスになるということがあつた。一クラス当たりの生徒数は当然、増える。これではまともな教育はできない、と論説に書いた。早速、校長室に呼び出され、こつてり油を絞られた。

萩高ではカンニング問題をコラムで取り上げた。カンニングが見つかると停学である。カンニングを未然に防ぐのが教師、それを得

意げに挙げるとは。師弟愛はいつたい、どこへ行つた、とやらかした。当の先生に、呼び付けられ、これまたこつてりどく怒られた。トラブルはたび重なつたが、ひるむことはなかつた。

読売新聞時代は、そのほとんどを経済記者として、大阪で過ごした。ここでも反骨精神はいかになく発揮された。相手がだれであるうと、記者会見では徹底的に追求した。手加減ということ知らなかつた。ある頭取からは「大野さん、あなたは一対一の時は非常に紳士的なのに、共同会見では、どうしてあんな嫌な質問をするんだね」とぼやかされたものである。若かつた。

### 萩へのひとこと

古里を離れて40有余年。萩の現況は定かではないが、目指すは観光と文化、そして教育である。

まず観光。歴史的景観を壊すことなく、いながらにして幕末、明治を味わつてもらふ。近代建築はご法度。ホテルも例外ではない。文化面では、劇場あるいは音楽ホールの建設。ここを拠点に、演劇、音楽の登竜門として一大コンテストを毎年、開いてはどうか。

残るは教育。松下村塾の流れをくむ萩である。全国から優秀の集まる私立の高校を創立したい。少数精鋭の進学校である。

最後にもう一つ。阿武川を親水護岸として整備、遊歩道を建設する。そこに風車、水車を配するの。もよい。エネルギー源になるほか、牧歌的で観光資源にも成る。

### プロフィール

早稲田大学文学部卒。読売新聞政経部などを経て平成4年から広島テレビ放送株式会社常務取締役

# 未来がここから見えてくる

# 萩国際大学 学生募集

萩国際大学では、来年度の新入生と編入生を募集しています。

進学前の子弟をお持ちの皆さん、萩国際大学への進学を検討してみませんか。

【国際学科】  
コース 比較文化コース、比較経済コース

【経営情報学科】  
コース 情報コース、経営コース、会計コース

■1年次学生募集(300名)  
国際学科 140名  
経営情報学科 160名

※詳細は下表参照。  
■編入学生募集(2・3年次)  
募集人数、出願資格等くわしくは大学にお問い合わせください。

## 特待生制度の創設

内容 学納金(入学金・授業料・施設整備費・維持費)の半額免除  
対象者 保護者が萩市内に住所を有する者、または萩市内の高等学校を卒業(見込み)の者  
募集人員 若干名

問い合わせ 萩国際大学入試センター  
08338-244000

## ■平成13年度学生募集日程(両学科共通)

入試区分	選 抜 方 法	出願期間	試験日	可否発表日
特 別 選 抜	面接および書類選考	10月20日(金) ～11月16日(木)	11月19日(日)	11月24日(金)
推 薦 選 抜	書 類 選 考	11月1日(水) ～11月21日(火)	志願者に個別連絡	
一 般 選 抜	A日程 「国語Ⅰ・Ⅱ」(古文・漢文を除く) または「英語Ⅰ・Ⅱ」から1科目(60分、100点満点)および書類選考	1月9日(火) ～1月31日(水)	2月4日(日)	2月8日(木)
	B日程 大学入試センター試験利用 次の①②の計2科目合計点および書類選考 ①外国語(英語) ②「国語Ⅰ」、「国語Ⅰ・Ⅱ」、「日本史A」、「日本史B」、「世界史A」、「世界史B」、「地理A」、「地理B」、「現代社会」、「倫理」、「政治・経済」から1科目を選択 ※①②それぞれ200点満点、計400点満点。ただし、地理歴史・公民については得点の2倍換算点200点満点。(本学個別学力検査等なし)	1月22日(月) ～2月13日(火)	大学入試センター試験日 1月20日(土) 21日(日)	2月23日(金)
	C日程 「国語Ⅰ・Ⅱ」(古文・漢文を除く) または「英語Ⅰ・Ⅱ」から1科目(60分、100点満点)および書類選考	2月7日(水) ～3月21日(水)	3月26日(月)	3月28日(水)

【試験場】萩国際大学、小郡、広島、松山、小倉 ※出願書類は、当日消印有効。別に私費外国人留学生選抜もあります。



昨年の様子



## 萩国際大学大学祭

### こうしさい 紅紫祭

海外から萩に集った学生たちが演じる「紅紫祭」に参加してみませんか。  
とき 11月4日(土)、5日(日)  
ところ 萩国際大学キャンパス  
内容 弁論大会、公開講座、ミニピアノコンサート、弓道演武デモンストレーション、チャリティバザー、骨強度測定コーナー、施設公開、国際テント村、野外特設ステージなど

萩国際大学の2回目の大学祭「紅紫祭」が、次のとおり開催されます。学生も増え、より楽しめる大学祭が期待されます。皆さんも、全国、

## 萩国際大学の留学生

ホサイン・イスマイル君

「いらっしやいませ! バングラディッシュカレーはいかがですか!」流暢な日本語で明るく接客しているのは、萩国際大学2年の留学生ホサイン・イスマイル君。第1期留学生としてバングラディッシュから一人萩にやってきた。

1年目は日本語との葛藤。全く分からなかった。漢字という共通語を持つ中国人留学生がどんどんアルバイトを決めているのに、自分では決まらない。語学力と肌の色というハンディを否応もなく感じた。ひとつだけ大手スパーがOKしてくれた。今度は自分の働くことへの甘さで迷惑をかけてしまった。東京で働くお兄さんが病気で倒れてしまい、仕送りが止まってしまった。いろんな人に助けられて何とかやってきた1年間だった。

日本語は上手になったが、生活が苦しいのは今も同じ。田町商店街の人たちが秋の萩焼まつりでカレーを売って支援しようという話になった。萩市と萩市民の国際化はまだ始まったばかりだ。



萩焼まつりで(10月7日)



大勢の歴史ファンが詰めかけた説明会



作家・古川薫さんも参加

## 幕末の大砲工場発見！

松陰神社入口から北西方向に約100m行ったところにある幕末の「郡司鑄造所」跡から、大砲など兵器鑄造施設とみられる石組みの遺構が見つかり、10月15日、山口県埋蔵文化財センターによる現地説明会が行われました。歴史ファンや維新史研究者ら約250人が詰めかけ、熱心に説明を聞いていました。この発掘調査は、今年の5月から月見川沿いの約200mを対象に進められました。

郡司家は旧毛利藩代々の鑄物師で、幕末期には藩命で銃砲鑄造所に指定されたという文献が残っています。

軍事関連施設の出土は全国でも珍しく、大砲は幕末の動乱期、外国艦隊との馬関戦争などで使われた可能性もあります。

説明会には、下関市在住の直木賞作家・古川薫さんも訪れ、「貴重な発見。全体保存は無理としても、大砲鑄造の遺構だけは残してほしい」と話していました。

## 特急「いそかぜ」

JR山陰本線で唯一、萩市を経由する特急「いそかぜ」の存続に向けた対策会議が10月2日、市役所で開かれました。

会議には、野村萩市長をはじめ、萩、長門両市の商工会議所、商店街、観光関係団体などの代表者約20名が参加しました。「いそかぜ」は、今秋のダイヤ

## 存続へ向けて

改正では廃止は免れたものの、来春以降の存続は不確定です。

今後のいそかぜ利用促進策として、島根県浜田市の水族館「アークアス」への格安料金での日帰り旅行、九州からの萩循環まあるバスツアー、神話の里島根県松江・出雲へのツアーなどを行う予定です。

## 旧市立病院跡地の発掘調査を開始

10月から、萩市堀内の旧市立病院跡地及び隣接する夏みかん畑の発掘調査が始まりました

この土地は、新しい博物館建設候補地であるだけでなく、江戸時代に毛利氏一門の大野毛利家の上屋敷であったことから調査するものです。

発掘面積は約1万1000㎡で、来年10月まで行われる予定です。



旧市立病院跡地



完成予想図

## 来年4月オープン！「萩シーマート」に着工

8月28日、萩沖の水産物を中心とする販売施設「萩シーマート」新築工事の地鎮祭が行われました。来年2月末の完成予定で、4月にオープンします。

「萩シーマート」では、地場の鮮魚を始め水産加工品、青果、肉類等が販売され、海鮮レストランでは、郷土色豊かな味覚が提供されます。

また、インターネット等による受注など、萩から全国に向けた物流、情報発信も計画中です。

## 「道の駅」に登録

8月18日には、山口県内では14番目の「道の駅」に登録されました。市内では、萩往還公園に次いで2か所目となります。

## 市民館にグランドピアノを寄贈 広島石川幸子さん

ました。

今年6月に秋市民館で行われた演奏会でピアノの老朽化を痛感され、寄贈を思い立たれました。

石川さんは阿東町生まれの元高校教諭。元僚であった萩市出身の守永洋子さんの遺志を継ぎ、平成6年に教育基金にと1億円を寄付、翌年にも1億円を寄付。さらに平成10年にも500万円を寄付されています。

萩市では、この2億円をもとに平成7年「守永洋子大学進学奨学金」制度を発足させ、これまで延べ33名が奨学金を受けました。11月3日には、萩市民館でグランドピアノ寄贈記念演奏会が開催されます。



寄贈されたピアノと石川さん



秋の

## 萩高等学校創立 130周年記念式典

萩高等学校の創立130周年記念式典が10月18日に同校体育館で行われました。式典には生徒や教職員のほか二井知事、河村建夫議員など120名が参加しました。

同校は明治3年に山口藩が萩明倫館を萩中学校として改称したことを創立としていて、県内の旧制中学では最も古い歴史を持っています。また、明治34年に県立萩中学校と改め、戦後の昭和25年に女子高だった萩南高と統合し今日にまっています。

同校の校訓碑が創立130周年にあわせ建立されました。この校訓碑は、吉田松陰の言葉でもあり昨年8月に制定された校訓「至誠」が刻まれています。大きさは高さ約2m、幅約3mの玄武岩製で、萩高同窓会が寄贈したものです。記念式典終了後、碑を揮ごうした河村議員や山縣同窓会長、川本校長により除幕が行われました。



除幕の様子

## たちばな会総会

10月14日に、萩商業高等学校の体育館で第35回たちばな会総会が行われました。

会は国歌、校歌の斉唱から始まり、川原理事長、能美校長の挨拶がありました。挨拶の中で能美校長は、学校の近況報告と今年の創立90周年を記念する行事、式典について述べられました。つづいて来賓として野村萩市長、横山県議会議員の祝辞があり、引受の代表として昭和39年卒業の清水さんが

## 山口指月会総会

第51回山口指月会が10月18日午後6時30分から、会員、来賓約110名の参加により、山口市の翠山荘で開催されました。

総会の冒頭河野会長から「21世紀は新しい会長のもと、山口指月会がますます発展するよう頑張ってください」と挨拶があり、これを受けて萩高1期卒の齋藤正美さんが全会一致で新しい会長として選任されました。

引き続き行われた懇親会で、齋藤新会長が「山口指月会のために一所懸命努力したい」と挨拶があった後、山縣萩高同窓会長から同日に行われた萩高創立130周年記念事業への協力に対する謝辞に併せて、事業の報告がありました。



たちばな会総会

挨拶しました。

総会後の懇親会は、関西支部副支部長の江舟さんの乾杯でスタートし、高校時代の懐かしい会話やアトラクションなどを楽しみました。創立90年の総会は約450名の参加で賑わいました。

校歌斉唱は、萩中、萩高女、萩高の順に行われ、参加者は昔を思い出しながら懐かしそうに歌っていました。

乾杯の後に始まった懇談会では、豪華景品付きのきららクイズやお楽しみビンゴ大会に一喜一憂し、会場の雰囲気が高潮に達したところで閉会の時間となり、来年もまたここで会うことを約束しながら家路へと向かいました。



山口指月会総会

## 明治維新防長殉難者 顕彰会

平成12年10月22日、京都の東福寺内退耕庵に於いて、本年も、明治維新防長殉難者顕彰会が約50名の参加で開催されました。毎年ご出席の、野村萩市長は残念ながらご欠席でしたが、萩からは山縣喜一氏・長谷智氏・藤原弘毅氏・藤村俊夫氏等がご出席でした。

この会は、慶応三年正月三日に勃発しました戊辰戦争が、ついに日本全国をまき込み、一年半余も燃え続けるのですが、あの鳥羽伏見の戦いの場所、鴨川に沿って走る鳥羽街道の近くに、ここ東福寺があり、毛利藩の本陣になっていたのです。若い長州人達がつぎつぎと戦死して行くのを、不憫に思われた寺の住職が、東山三十六



東福寺退耕庵での法要

峯の懐にある、仲恭天皇御陵内南岳に、ねんごろに弔われました墓を、顕彰する会だと承知しています。

顕彰会の歴代会長は、品川二郎、寺内正毅、杉道助、岸信介、田中龍夫の各先生方、そして現在は、六代目林義郎会長なのです。

当日、午前九時半より、戊辰殿に於いて、五十部住職の読経により法要が開始され、林会長を筆頭に全員が焼香、会長のご挨拶の後、詩吟、献笛、地唄による京舞が、それぞれ厳かに奉納されました。

本年の講師は、現職学校法人「南京都学園理事長・高等学校本部廣哲校長で、「偉大な教育者西郷隆盛が沖永良部島における南洲塾について」を講話されました。

その後、今の役員改選や、収支報告等の総会は、順調に進み、有志は、それぞれ東福寺内の、まだ紅葉になっていない景色を、楽しみながら徒歩で、秋晴れの中を南岳の墓参を致しました。

退耕庵に帰って、参加者全員の写真撮って、精進料理と少しの般若湯で話が弾み、有意義な一日を過ぎ、又来年を約束しながら皆さんは、満足顔で散会を致しました。

大阪 中山光夫



「維新の男・萩の女」ジャケット

## 萩の唄 ふるさと Song (2)

今年もあと2か月となりました。年末年始といえは忘年会や新年会。今回はふるさとを思い出しつつカラオケで歌っていただきたい曲を揃えてみました。



**長州の男** 歌はあの「みちのくひとり旅」の山本譲二。作詞は星野哲朗、作曲・原譲二。萩の港、維新の夢、青海の十六羅漢というお約束スポットが押さえてあるうれしい一曲。

**花の奇兵隊** 三橋美智也が奇兵隊の高杉晋作を歌ったもの。作詞は草野桂五、作曲・吉田矢健治。

**故郷ばなし** 詩・歌は宇部出身で旧明経中に在学していた頼田有梨。作曲・亜乃庸、編曲・南郷達也。

「好いちよる、惚れちよる、命を賭ける、愛しいお方にやホンニ尽くします〜」やっぱり女は長州女に限る？

**萩の母** 本誌でももうおなじみの原たかしの名曲。松陰の涙松のシーンを堂々と歌い涙を誘う。7年前に発売されたものだが、いまだにじわじわと売れているそうだ。作詞は田村和男、作曲・岸本健介、編曲・南郷達也。

**萩の恋歌** 帰ってこないとわかっていても、ひたすら萩で待つ女を歌っている。

歌・山本和美、作詞・やしろう、作曲・山田年秋

## 出版情報

■吉田松陰全集 マツノ書店  
吉田松陰生誕170周年を記念して岩波書店刊行の全集に門下生や知人の日記・談話・書簡など松陰に関する文書を集めた別巻1冊を新たに加えて復刻したもの。

吉田松陰を歴史上のヒーローとしてではなく、等身大の人間としてとらえ直すのに不可欠な史料となっている。

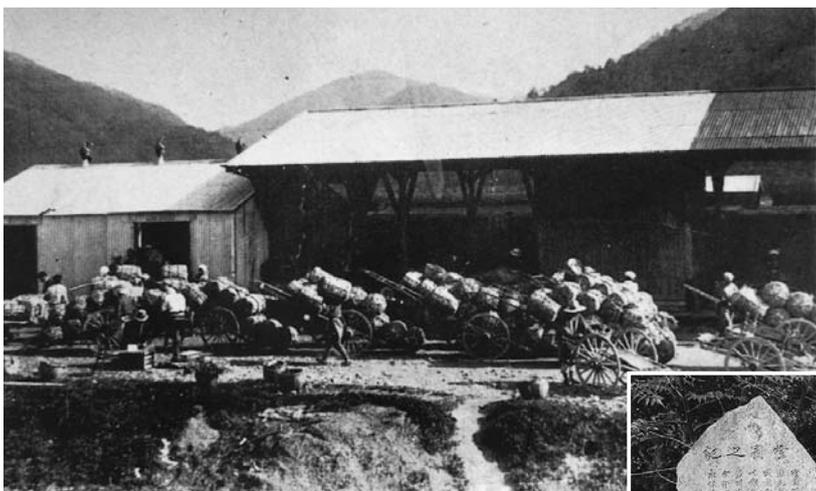
A5版7000ページで、販売は直販のみ。配本は来年1月中旬。定価 8万円（別途送料1000円）

申し込み・問い合わせ マツノ書店(0834-21-1915)  
■烈々たる日本人 よしだみどり 著 祥伝社

「宝島」や「ジキル博士とハイド氏」の作者として著名なイギリスの文豪ステイヴンソンによる世界ではじめての吉田松陰の伝記の和訳紹介を核に、それが書かれるに至った背景や人間関係にまで迫った作品。副題は、日本より先に書かれた謎の吉田松陰伝。

ステイヴンソンがどうして吉田松陰のことを知ったのか、そこに何が書かれていたのか興味は尽きない。作者は、かつて幼児向けテレビ番組「ロンパールーム」の司会者を務め、現在は執筆家として知られる、よしだみどり。

## 20世紀に残した 萩の足跡



今は懐かしい萩特産・夏みかんの出荷 (新川、昭和11年)

橙園之記 (平安古・田中家別邸) ▶



竹の橙かごに詰められた黄色い夏みかんが、大八車や馬車につままれて運ばれていく。かつての萩で春から初夏にかけて見かける、何となく嬉しくなる光景だった。写真は東萩駅らしい。すでに貨車がとまっていた、出荷される橙が次々と大八車で着いている。萩の夏みかんは明治10年代の初め、小幡高政が貧困士族救済のために栽培を始め、たちまち全市に広がった。同20年(1887)ごろから戦後の昭和30年(1955)ごろまでのほぼ70年間、萩の経済を支える主力産業だった。石碑「橙園之記」が建つ旧小幡邸は先頃、前所有者の故田中龍夫氏の遺族から市へ寄贈された。

○このコーナーでは、大正、昭和初期の萩の風景を撮影した写真を募集しています。(連絡先 萩市広報課 0838・25・3178)

○このコーナーで紹介した写真は、萩市ホームページ (<http://www.urban.ne.jp/home/hagicity/>) でも紹介しています。

「夢ある菓子」を夢見て.....

# 萩夏みかん農園開園!!

萩ネットワーク第24号  
(1998年11月)のズームアップのコーナーで紹介した井町正さん(現会長)が創業した株式会社和晃が、萩市平安古の約3000㎡の夏みかん畑に、「萩夏みかん農園」を開園しました。

「夢ある菓子」作りについて語ってました。  
萩ネットワークの会員の皆さん、来年の夏みかんの収穫後、どんな和菓子ができるかご期待ください。

10月20日に現地で開園式を行い、式には、野村萩市長を始めとする来賓や、井町会長など会社関係者が多数出席しました。  
井町会長は、「萩の夏みかんを使って和菓子を作り、食文化のルーツである京都から萩を発信したいと常々考えていました。私も萩を出て50年、残りの人生でこの事業を成し遂げ、菓子業界での和晃の基盤を確立するともに、お世話になった故郷萩への恩返しができるのではと思っています」と



開園式の様子 (井町会長)

■株式会社 和晃  
通信販売 フリーダイヤル (0120・178・807)  
ネット販売 <http://www.rakuten.co.jp/okashi-wakou/>

## 河野勉 山口県出納長に



9月14日に行われた山口県議会で、綿屋前出納長の任期満了に伴い、後任として萩出身の河野勉さんが選任されました。  
河野さんは、萩高等学校12期卒業で、昭和40年に県庁入り。岩国基地沖合移設対策室長、企画振興部長などを歴任しての選任となりました。

## 東京発 一見島 漁師として新しい生活を!!

ニューフィッシャーマン確保育成事業



近藤勝則 さん  
(東京都東久留米市出身、35歳)

東京都東久留米市出身で、漁師への道を目指す近藤勝則さんが、見島で漁業者になるための研修を開始しました。  
近藤さんは、山口県が全国から公募した「ニューフィッシャーマン確保育成事業」で、見島津漁協での研修、就業を希望する12名の中から選ばれました。  
現在、見島津漁協の指導で、採海藻漁業と一本釣漁業の研修を受けています。これから平成14年9月まで、潜水研修、船上研修、港内研修、陸上研修を経た後、10月から漁業経営を開始する予定です。



## 私のお店

# 日本料理 長州

梶山 高さん (昭和29年萩商工卒)

大阪府吹田市江の木町16番26号 ホテルダイトー 1階  
(☎06・6338・5905)  
○営業時間 【昼】午前11時30分～午後2時 【夜】午後5時～10時

大阪市営地下鉄の江坂駅近くに、たちばな会関西支部長の梶山高さんがオーナーをつとめ、萩商同窓生がよく利用する「長州」という日本料理店があります。  
オープンは平成2年5月で、今年開店10周年です。  
昼は、700円の定食から、夜は、これからの寒い季節にピッタリの鍋料理各種。なかでも牛と鶏ミンチ肉を使った「名物・珍々鍋」、冬の鍋の王様「ぶぐのてっちり」などがお勧めです。  
郷土の酒「長門峡」も置いてあります。忘年会等の各種宴会は、ご予算に応じます。

## 今年の萩観光シンボル レディーが決定しました!

平成12年度の萩観光シンボルレディーが決定し、10月2日に萩市観光協会から認定書が交付されました。  
今回、赤峰<sup>さき</sup>妃さん、利重ひろみさん、溝部恵子さん、吉本明子さんの4名が選ばれました。  
任期は2年間で、観光都市・萩の顔として、全国各地で観光宣伝を行います。



吉本さん 溝部さん 利重さん 赤峰さん

# Web come to Hagi

萩関係のホームページ紹介

## 山口交流圏

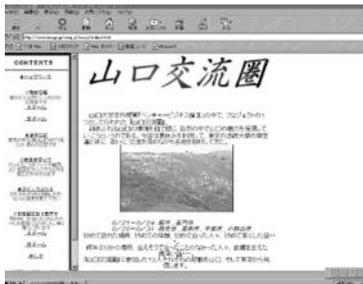
【URL】 [http://www.lets.gr.jp/yamg\\_u/koryu/index.html](http://www.lets.gr.jp/yamg_u/koryu/index.html)

山口の魅力を再発見するために、山口大学と法政大学の学生による「山口交流圏プロジェクト」の一行7名が萩を訪れ、史跡や環境問題などを取材しました。

萩市のほか長門市や秋芳町などを訪問し、初めての体験、故郷を支えた奥深い話、それぞれが魅力を感じたことなどをホームページにまとめ、内容を公開しています。

萩関係のものには、藍場川周辺の環境や、萩リサイクルセンターなど、環境問題をまとめたものや、浜崎地区の町並みなどが紹介されています。

大学生が山口を客観的に見て発見したことや魅力など、ぜひ一度ご覧ください。



SHOWIN ウォーク (平戸)

が期待されます。

国内旅行、修学旅行者の低迷が叫ばれる中、現代の高杉晋作たちが志す、21世紀の萩観光の夜明けが期待されます。

「奇兵隊青年部」は、萩市の観光宣伝や学習会を通じて、これからの萩の観光を担う若手観光業者同士の連携を図ることを目的に活動していきます。

「奇兵隊青年部」は、萩市の観光宣伝や学習会を通じて、これからの萩の観光を担う若手観光業者同士の連携を図ることを目的に活動していきます。

「奇兵隊青年部」は、萩市の観光宣伝や学習会を通じて、これからの萩の観光を担う若手観光業者同士の連携を図ることを目的に活動していきます。

「奇兵隊青年部」は、萩市の観光宣伝や学習会を通じて、これからの萩の観光を担う若手観光業者同士の連携を図ることを目的に活動していきます。

「奇兵隊青年部」は、萩市の観光宣伝や学習会を通じて、これからの萩の観光を担う若手観光業者同士の連携を図ることを目的に活動していきます。

## 蔚山広域市で萩民踊に歓声

萩市と姉妹都市の韓国蔚山広域市で開催された處容文化祭に、10月7日と8日の2日間、萩民踊研究会ほか民踊グループが招待されました。

7日には、蔚山広域市役所から文化祭会場まで約1kmのパレードに参加し、市民からの熱烈な拍手喝采で歓迎を受けました。

8日は、雨天に見舞われ、あいにくの天候となったにもかかわらず、「男なら」、「ヨイショヨシヨ節」など9曲を披露し、多くの蔚山市民からの歓声を受けました。



三見子ども民踊の会

「日本一周グランドクルーズ(ツアー)」のコースの中に、萩が選ばれました。

滞在時間は、午前7時から午後6時の予定で、参加者はオプショで松陰神社、萩城跡、城下町などの見学や、萩焼体験などを行うことになっています。

飛鳥

日本一周グランドクルーズ

飛鳥就航  
10周年記念

2001年6月5日 萩に寄港



## 拓殖大学が萩市に桂太郎肖像を寄贈

10月25日に天皇陛下ご臨席のもと、拓殖大学創立100周年の記念行事が行われ、野村萩市長が出席しました。

この記念事業の一環として、拓殖大学創設者の桂太郎公を黒田清輝画伯が描いた「桂太郎公肖像」が複製されました。

複製された4点のうち3点は、拓殖大学の総長室、理事長室、八王子理事会議室に展示され、1点が桂太郎公ゆかりの地である萩に寄贈されることになりました。

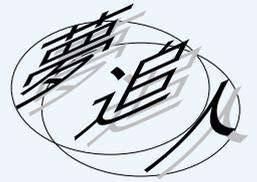
「桂太郎公肖像」の原画は、明



寄贈された桂太郎肖像画

治44年に完成した油彩画で桂家が所有していましたが、昭和55年に拓殖大学創立80周年を記念して大学に寄贈されたものです。

萩市では、この肖像画を昨年同大学から贈られた銅像と同じく、史跡桂太郎旧宅に展示します。



# おがわせいいち 小川成一さん

平成10年に萩市指定有形文化財の小川家長屋門（土原）を改装して「ギャラリー草奔」をオープンさせた小川成一さん（48歳）

## 作品と建物の調和も楽しめませう



ギャラリー（小川家長屋門）前で

「『ギャラリー草奔』を始められたきっかけは？

萩には大学生などの若い人で、陶芸、絵画、写真などで自由に活動している人がいない。そういう人たちが掘り起こしていきたい、と思ったのがきっかけです。今の若い人がどういふことを考えているのか、作品を見て感じてもらえれば。草奔という名前には、権威とかじゃなく、これからの人たちに使ってほしい、という思いを込

めました。

「どうして文化財をギャラリーに？」

文化財といっても、いろんな使い方、考え方があっていいと思います。保護するのもあるし、個人が自由に使ってもいい。文化財であっても、もうちょっと自由なことができる空間にしたいと思っただけです。

「『ギャラリーを訪れた人の反応は？」

内部は天井や床、敷居などを取り払い、梁や土間がむき出しになっています。何も無い空間じゃなく、歴史の重さを感じてもらえます。その空間の面白さが好評です。壁には明治時代の新聞が貼られていたりします。また、

作家たちも、その歴史の重さに負

けない作品を作ろうと考える。作品だけじゃなく、作品と建物の調和も楽しめませう。意外と萩焼など古いものより、絵画などの方が面白いですよ。

それに、作家がいつもその場に居るので、話をすることもでき楽しいと言われます。

「これからの夢は？」

若い作家の人たちに、このギャラリーを出発点として羽ばたいてほしい。今は山口市の芸短や山大学の学生が多くなっているので、次は県外の作家の展示もして交流していきたい。

■プロフィール

昭和27年、東京生まれ。藩政末期萩町最後の町奉行を勤めた小川家の子孫。高校時代から喫茶



ギャラリー内部（0838・26・2933）

## 滝廉太郎記念音楽祭・全日本高等学校声楽コンクール

### 第2位 萩光塩学院高3年 沢江衣里さん

沢江さん（益田市）は、中学の頃から歌うことが好きで、高校に入ってから合唱部に入部。昨年の10月から本格的に声楽を始めました。

昨年の同コンクールでは、優良



沢江衣里さん

賞を受賞しています。今年のコンクールには、26都道府県から29人が参加。本選には11人が残りました。

沢江さんは、課題曲で滝廉太郎作曲「秋の月」を、自由曲では「ストラナ」を歌いました。

今年のコンクールで見事第2位に輝いた感想は？  
「1年間、自分がやってきたことは間違っていないと自信が持てました。最初は順位にこだわらずにいこうと思っていたけど、後

で審査員の先生から予選の方が音楽的にまとまっていたと言われ悔しくなりました。でも、自分では本選の方に気持ちが入っていたので、評価していただいても満足しています。」

副賞として、オーストリアのウィーンへの短期留学の助成金が贈られます。沢江さんは、来年の夏に留学する予定です。

将来の夢は？

「来年、音楽大学に進学します。これからもずっと声楽をやりたい。今回のコンクールで、伴奏の先生のピアノを聴きとても感動しました。私も人に感動を与えられるようになりたい」

## 写真集「萩の日々」 好評販売中！

城下町「萩」で育んだ青春の日々を綴った珠玉の写真集「萩・HAGI」で日本写真協会新人賞を受賞した萩市瓦町の写真家下瀬信雄さん（萩高17期卒）の待望の第二集。日本図書館協会選定図書。



定価 4500円、ただし、ネットワーク会員は消費税込で3000円、送料サービス  
規格 26×27cm、上製本カバー掛け、モノクローム二色刷、144P

申し込み・問い合わせ シモセスタジオ（0838・22・0129）または [sssc@mx51.tiki.ne.jp](mailto:sssc@mx51.tiki.ne.jp) へ

■写真集の紹介はホームページでもご覧いただけます。【URL】<http://ww51.tiki.ne.jp/~sssc/>

海賊に襲われたようなものですね

## 「山口県史」に抑留体験を語る

山口県史「史料編・現代2」県民の証言聞き取り編」が出版されました。内容は、戦後の山口の主な出来事に関わった県民94人の証言を46編にまとめたもので、他に例のない県史となっています。

萩からは、故田中龍夫さん、浦上敏朗さん、そして今回紹介する横田義男さんの3人からの聞き取りによる貴重な証言が掲載されています。横田さんの「李ラインと抑留体験」から抜粋して紹介します。

### 「李ラインと抑留体験」

戦後、GHQ（連合国軍最高司令官総司令部）は、日本の船舶の自由な航行を制限した。

1951（昭和26）年に対日講和条約が調印されたが、当時の韓国大統領李承晩は漁業資源の保護などを理由に規制ラインを設定し、日本漁船の立ち入りを禁止した。いわゆる李承晩ライン（李ライン）である。

李ライン内の海域は好漁場で、特に山口県の漁業界は大打撃を受けた。しかし、韓国警備艇は、李ライン侵犯を理由に日本漁船を拿捕し、漁船員を連行



横田義男さん（71歳、倉江1929（昭和4）年2月28日生。1955（昭和30）年11月、韓国警備艇に拿捕され、抑留。2年4か月後の1958（昭和33）年2月に帰国。  
聞き取りは、1994（平成6）年2月25日、萩市玉江浦漁業協同組合で行われた。

して抑留した。1965（昭和40）年6月に、日韓基本条約と日韓漁業協定が締結されるまで続いた。韓国に拿捕された日本漁船は327隻で、抑留された漁船員は3929人上った。山口県関係の拿捕漁船は114隻に達するといふ。

第一金民羅丸に乗船して対馬沖で操業中に拿捕された横田義男さんから、拿捕・抑留の体験を聞いた。

——— 家族との通信は、月に1、2回程度でした。しかし、これが僕らの一番の励みになっていました。

・・・びっくりしましたね。14、15人飛び乗ってきて、ガタガタという音で目が覚めて、びっくりして出てみたら海洋警備艇がいて、甲板の上から、船室の中から、エンジン場から、ざっと人が入ってくるんです。海賊に襲われたようなものですね。

・・・僕らは826日間抑留されていたわけですから、1日いくらかという計算で補償をされたと思います。それで、苦労した甲斐もありましたがね。そりゃあ、その間、捕まらずに操業していたら、それ以上の収入があったかもしれませんが、これも人間の宿命ですからね。

・・・結婚してすぐ子どもができて、その子が8か月目に拿捕されたんです。だから日本に帰ったとき、大きくなっていましたね。家族の者が、「これ、父ちゃんよ」と言っても、知らん顔してましたね。その子が今、39歳になっていますが、早いもんですね。

・・・まあ、韓国のやったことは、船や網もほしかったんですけど、まあひとつには拿捕船員を抑留しとけば、日本との交渉を有利に進められることもあったのでしよう。

———（抜粋）

A5版、948ページ、4500円  
問い合わせ 山口県刊行物普及協会（083-933-2586）

## 山口県立萩美術館・浦上記念館だより

### 11～12月の企画展

#### 京大原三千院の名宝展

11月1日（水）～12月10日（日）  
延暦年間（782～806）に最澄が開基した三千院は、天台宗山門（延暦寺）派の三門跡のひとつに数えられ、浄土教や密教に関わる多数の文化財が伝わっています。

本展では、三千院の所蔵品と延暦寺などに伝わる文化財により、三千院の歴史と文化を紹介します。



阿弥陀如来脇侍勢至菩薩像

#### 浮世絵展示

「浮世絵版画の歴史」11月1日～26日

「明治の役者絵」11月28日～12月24日

歌川広重「東海道五十三次」平成13年1月3日～2月4日

#### シリーズ山東文物3 磁器の誕生—原始瓷器—



原始瓷罐 西周時代

第2期 12月16日（土）～平成13年2月12日（月・祝）

中国山東省にある前掌大周墓で発見された資料約80点を展示し、「原始瓷器 出現の持つ意味とその後の陶磁史に及ぼした大きな役割を考察します。」

#### 来年度の企画展（予定）

「伝統と革新」萩焼400年展」6月16日～7月22日

山口きらら博 開催記念特別展「色彩の歓び メルツバッハー・コレクション展」7月28日～9月24日



ロートレック「新緑の中で」

# 情報アラカルト

## 北海道地区

■T・S・S・K2000展

萩焼作家・坂高麗左衛門の作品が展示されます。

とき 12月7日(木)～12日(火)

ところ 札幌市中央区 丸井今井本店アートギャラリー

## 関東地区

■秋4校合同在京同窓会

萩高・萩商・萩工・萩光塩の萩4校の在京合同同窓会を開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 11月25日(土) 午後1時

ところ 大手町1-7-2 サンケイ会館

■武蔵野美術家展

日本画家・内田青虹の作品が展示されます。

とき 11月16日(木)～26日(日)

水曜日を除く午前9時30分～午後6時30分

ところ 武蔵野市場 武蔵野市民会館(アルテ)

■切り絵の世界展

切り絵作家・上田豊治の作品が

展示されます。

とき 平成13年1月30日(火)

～2月4日(日)

ところ 東京都中央区 日本橋三越

■益子陶芸展

萩焼作家・金子信彦の作品「華」が大賞(加守田章二賞)に選出され、展示されます。

とき 12月3日(日)まで

ところ 栃木県芳賀郡益子町 陶芸メッセ・益子

■ペアテイル・ペアソン作陶展

萩焼作家・ペアテイル・ペアソンの作品が展示されます。

とき 11月5日(日)まで

水曜日を除く

ところ 東京都中野区野方 ギャラリー陶磁器一輪

■JC芸術部会4人展

萩焼作家・守繁徹の作品が展示されます。

とき 11月5日(日)まで

ところ 横浜市中区 ギャラリー音楽通り

■岡田裕作陶展

萩焼作家・岡田裕の作品が展示されます。

とき 11月6日(月)まで

ところ 成田市赤坂 ボンベルタ成田

■第32回日展

萩焼作家・吉賀将夫、松野龍司、中村真一、田中真一の作品が展示されます。

とき 11月2日(木)～24日(金)

ところ 東京都台東区上野公園 東京都美術館

■内村幹雄作陶展

萩焼作家・内村幹雄の作品が展示されます。

とき 11月14日(火)～20日(月)

ところ 東京都豊島区 池袋三越

■高見世清次 個展

萩焼作家・高見世清次の作品が展示されます。

とき 11月17日(金)～30日(木)

ところ 東京都目黒区鷹番3-1-19 陶芸サロンやまもと

■机上空間のためのアートワークス展

萩焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。

とき 12月5日(火)～23日(祝)

ところ 東京都中央区銀座 コンテンポラリーアートN1K1

■NHK衛星放送「やきもの探訪展2000」

98年4月から12月にNHK衛星放送「やきもの探訪」で紹介した陶芸家27名の作品を展示。萩焼作家・岡田裕、兼田昌尚の作品が展示されます。

とき 12月26日(火)～平成13年1月14日(日)

ところ 東京都中央区 日本橋三越

越

## 信越地区

■第47回日本伝統工芸展

萩焼作家・三輪休雪、岡田裕波多野善蔵、止原伸郎の作品が展示されます。

とき 11月5日(日)まで

ところ 金沢市出羽町 石川県立美術館

## 東海地区

■2000年萩焼作品展

萩焼作家・松野龍司、小田光治船崎透の作品が展示されます。

とき 11月8日(水)まで

ところ 江南市高尾町 ギャラリーくれい

■三輪窯三人展(三輪休雪・龍作和彦)

萩焼作家・三輪休雪、三輪龍作、三輪和彦の作品が展示されます。

とき 平成13年1月2日(火)～13日(土)

ところ 名古屋市中区栄3 松坂屋本店

## 関西地区

■萩同郷会

4年に1回開催の萩同郷会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 11月19日(日) 正午～

ところ 大阪市北区芝田3丁目 大阪弥生会館

## テレビガイド

■「やまぐち県民文化祭メインフェスティバル『地球』へ...」(仮題) KRY山口放送

第4回やまぐち県民文化祭メインフェスティバルとして11月25日～26日にルネッサながとで開催されるミュージカル「地球」へ...」の稽古風景や本番を紹介する。

放映予定日 12月23日(祝) 午後3時～4時55分

■「やきもの探訪」NHK衛星第2放送

萩焼作家・濱中月村をコシノジュンコがインタビューします。

放映予定日 12月23日(祝) 午前8時30分～9時

■風土記が語る古代播磨展 日本画家・内田青虹の作品が展示されます。

とき 11月26日(日)まで

ところ 姫路市山野井町 姫路文学館

■三輪和彦個展

萩焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。

とき 平成13年1月17日(水)～1月23日(火)

ところ 京都市下京区 京都高島屋

## ―中国地区―

■国民文化祭・広島2000(神楽フェスティバル)

木間神楽舞保存会の14名が木間の神楽舞を披露。山口県からは木間が唯一参加します。

とき 11月4日(土) 正午～  
ところ 広島県美土里町 神楽門前湯治村神楽殿

■映画「わたしの見島」上映  
岡山市芸術祭「映像祭おかやま21」の中で上映されます。

とき 11月25日(土) 午後0時30分～  
ところ 岡山市幸町 西川アイブラザ

■第47回日本伝統工芸展  
萩焼作家・三輪休雪、岡田裕波多野善蔵、止原伸郎の作品が展示されます。

とき 11月16日(木)～12月3日(日)  
ところ 岡山市天神町 岡山県立美術館

とき 平成13年1月24日(水)～2月12日(月)

ところ 広島市中区 広島県立美術館

■内村幹雄作陶展  
萩焼作家・内村幹雄の作品が展示されます。

とき 11月21日(火)～27日(月)  
ところ 福山市元町 天満屋福山店

■守繁徹作陶展

萩焼作家・守繁徹の作品が展示されます。

とき 12月5日(火)～11日(月)  
ところ 広島市中区胡町 広島三越

■岡田裕作陶展  
萩焼作家・岡田裕の作品が展示されます。

とき 平成13年1月8日(祝)～23日(火)  
ところ 岡山市本町 岡山高島屋

## ―四国地区―

■第47回日本伝統工芸展  
萩焼作家・三輪休雪、岡田裕波多野善蔵、止原伸郎の作品が展示されます。

とき 平成13年1月6日(土)～21日(日)  
ところ 高松市番町 香川県文化会館

## ―九州地区―

■映画「わたしの見島」上映  
「アジアのドキュメンタリー・プログラム」の中で上映されます。

とき 12月1日(金) 午後4時～、2日(土) 午前11時～  
観覧料 大人600円、大学・高校500円、中学・小学400円

ところ 福岡市早良区百道浜 福岡市総合図書館

## ―山口県関係―

■巴城会・たはな会下関支部(萩商・萩工)・萩光塩の同窓会下関

## 支部の合同同窓会

下関の萩同窓会巴城会と萩商・萩工の同窓会たはな会下関支部・萩光塩の同窓会下関支部の合同同窓会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

とき 11月11日(土) 午後6時30分～  
ところ 下関市中之町 亀山八幡宮儀式殿

■金子信彦作陶展「緋の華に魅せられて」  
萩焼作家・金子信彦の作品が展示されます。

とき 11月9日(木)～14日(火)  
ところ 下関市竹崎町 下関大丸5階美術館

■やまぐち県民文化祭 ミュージカル「地球へ・・・」  
萩市の劇団さくら組を中心に、三隅町の画家香月泰男を主人公にした創作ミュージカル。

とき 11月25日(土) 午後7時～、26日(日) 午後2時～、午後6時～  
ところ 長門市 ルネッサながと

入場料 1500円(当日1800円)

## ―萩市関係―

■萩商業高等学校創立90周年記念式典  
とき 11月4日(土) 午前10時

ところ 萩市江向 萩商業高等学校体育館

■姉妹展「江戸衣裳創作人形とハーブ織りの世界」  
創作人形作家の橋本庚とハーブ織り作家の上利フジエの作品が展示されます。

とき 11月3日(祝)～12日(日)  
ところ 萩市南古萩町 俣宿天十平

■形影(けいせい)  
山口大学に在学中の福川佳寿恵、実川久美子の絵画16点が展示されます。

とき 11月3日(祝)～5日(日)  
午前11時～午後6時

ところ 萩市土原 長屋門珈琲カフェ  
■「NEO PRIMITIVE」  
山口大学に在学中の山本裕史の絵画等20点が展示されます。

とき 11月21日(火)～26日(日)  
午前10時～午後6時

ところ 萩市土原 長屋門珈琲カフェ  
■ジャズコンサート「ビル・チャールップ・トリオ」  
ピアノリストのビル・チャールップが率いる3人編成のジャズコンサート。参加メンバーは、ビル・チャールップ、ベースのピーター・ワシントン、ドラムのデニス・マクレル。

とき 12月3日(日) 午後7時

入場料 7000円

ところ 萩市土原 喫茶ヴィレッ

お問い合わせ ヴィレッジ (0838・25・6596)へ

■クリスマスのおくりもの  
国内外で活躍する陶・ガラス・漆・鍍金の工芸家22名によるクリスマスギフト50～60点

とき 12月1日(金)～7日(木)

ところ 萩市呉服町 彩陶庵本館ギャラリー (0838・25・3110)

お問い合わせ 彩陶庵 (0838・25・3110)へ

■やまぐち県民文化祭「第九」演奏会・萩  
山口県交響楽団と公募した市内外の約500名の合唱団と観客3000人による「第九」

とき 11月19日(日) 午後2時～(開場は午後1時)

ところ 萩市民体育館  
入場料 2000円(当日2300円) 全席自由

■やまぐち県民文化祭 KENZ O TAKADAと美の世界  
世界的ファッションデザイナーでパリ在住の高田賢三氏と陶芸家・三輪龍作氏のトークショー

とき 12月3日(日) 午後3時～(開場は午後2時)

ところ 萩市民館  
入場料 1000円(当日1200円) 全席自由

お問い合わせ 萩市企画課 (0838・25・3131内線405)

# 幕末・維新こぼれ話

萩藩では、幕末期に中嶋治平<sup>じへい</sup>という科学者を生み出しました。明治維新は、政治・経済・文化などあらゆる面において、日本の近代化を推し進めた大きな転換期でした。この維新の変革に大きくかつ深くかわり、主導的な役割を果たしたのが萩藩でした。治平は、萩藩が維新の変革を成し遂げていく過程で、科学技術の側面から貢献しました。いわば、日本の科学技術の近代化への先駆けとなった人物ともいえるでしょう。今回からは、治平が幕末期に試みたパンやガラスの製造などを紹介し、それらの試みが維新の変革にどのようにかわり、どのような役割を果たしたのかを見てみたいと思います。

治平は、文政6年（1823）萩藩の朝鮮通詞中嶋三郎右衛門正貞の長男として萩城下浜崎新町に生まれました。幕末期、日本の近海にアメリカやヨーロッパ諸国の艦船が開国を求めて来航するに及び、治平は朝鮮語だけでなく、オランダ語や英語を修得する必要を痛感し、安政3年



中嶋治平の旧宅地（浜崎新町）

## 幕末の科学者中嶋治平（1）

～パン製造と中嶋治平～



パンの製造法（中嶋治平筆）

（1856）藩に願い出て、長崎に遊学することになりました。安政6年まで3年間の長崎滞在中、治平は語学ばかりでなく、基礎化学のほか製鉄・製薬・染色などの応用化学を中心に、様々な西洋科学の勉強に励みました。萩に帰ってから、万延元年（1860）に萩城下江向の藩主の別邸南園御殿内に設置されたガラス製造所に配属され、すぐさま科学先進地であった鹿児島・長崎に派遣されました。文久3年（1863）には、下関攘夷戦争で沈没した萩藩の軍艦壬戌丸の引き揚げに成功しました。さらに、元治元年（1865）に製鉄局、ついで

慶応元年（1866）には好生堂（萩藩の医学所）の化学分析と、萩藩の科学技術者としての道を歩み、ついに慶応2年には舎密局（萩藩の化学研究所）の総裁に昇進しました。しかし、これから治平の才能が大きく開花しようとする時、惜しくも同年12月28日、44才で病死しました。

現在、治平の子孫中嶋家には、治平が藩に提出した建白書や勤功書などの控え、あるいは製鉄法・製薬法・染色法などを書き留めた記録とともに、パンの製造法を書き記した記録が残されています。この記録には、パンの作り方のほかに、ハム・スープなど11種のオランダ料理の作り方が記されています。おそらく治平が、安政3、4、5、6年の長崎滞在中に見聞した調理法を書き留めたもので

しょう。

パンの製造法を記したページの標題には、ブロードとありますが、ブロードとはオランダ語でパンという意味です。この記録は、パン製造のためのレシピで、材料と作り方が簡略に記されています。まず材料として、小麦粉・卵・砂糖・本（もと）の4種を用いました。本というのは、日本酒を醸造するときの元になる酒母のことです。パンを発酵させるイーストすなわち酵母として使われました。

つぎに作り方として、午前8時ごろにパンを焼き上げるのであれば、前日の午後2時ごろに4種の材料を使ってパン生地をこね、一晩寝かせて十分に生地を発酵させなければなりません。そして、パン生地の発酵には、火鉢に入れた炭火の火力を利用して発酵温度を一定に保ったようです。

パン焼き竈とともに、焼き上がったパンの形も治平は描いており、丸い山型のパンであったことがわかります。また、「この位の者が、この位になる」と、焼き上がったさいに、パンが一回り膨らむ様子も描いています。

こうして、治平は長崎で見聞したパンの製造法を萩藩にもたらしたのでした。

萩市郷土博物館 樋口尚樹

### Topics



### 萩にゴッホがやってくる

ゴッホの代表作の一つである「タンギー爺さんの肖像」（ロダン美術館所蔵）が来夏に県立萩美術館・浦上記念館で開催する展覧会に出品されることになりました。

浮世絵が背景に埋め尽くされた、ジャポニズムを代表する作品で、ゴッホが影響を受けた浮世絵との関係を端的に示す絵画として最も知られています。